

KAMEYAMA 音楽祭



小川よしのり



和太鼓 凜



中村好江



三重大学応援団



久保沙綾



スリーハピネス

司会者 宮崎利香

2026 3.01 SUN

OPEN 13:00
START 13:30

亀山市文化会館
大ホール

第1部 和太鼓 凜 中村好江 小川よしのり
コンサート&紙芝居 響きあう 郷土民話 - 紙芝居と音楽 -

第2部 久保沙綾 子ども合唱団 亀山少年少女合唱団
合唱 『にじ』『花はさく』

第3部 三重大学応援団 スリーハピネス

入場料

全席自由 500 円 (税込)

チケット発売

1月17日(土)

チケット発売所

亀山市文化会館 亀山エコー案内所 鈴鹿ハンター
フジヤ 青少年研修センター (一社) 亀山市観光協会

KAMEYAMA 音楽祭



和太鼓・篠笛 凛

三重県鈴鹿市出身。
2003年、名古屋にて和太鼓プロチームをメンバーと共に創設し、中心メンバーとして全国各地で演奏。2010年よりソロ活動を本格化し、日本国内にとどまらずこれまでにオランダ・ベルギー・アメリカ・アジア各国など海外公演も多数。世界各地の舞台で和の響きを届けている。同年、ちふれ化粧品CM等「SAVE WOMAN」として注目され、メディアでも多数取り上げられる。2015年には第14回三重県文化賞新人賞を受賞。1stアルバム『凛』をリリース。ピアノやヴァイオリンなどの洋楽器、尺八や三味線などの和楽器に加え、オーケストラ・吹奏楽・書道・ダンス・ミュージカルなど、ジャンルを超えた表現者とのコラボレーションを重ねてきた。舞台の形式にとらわれない、柔軟かつ力強い表現に定評がある。演奏活動のほか、演奏指導や楽曲提供も行い表現の幅を広げている。また、地域文化の保護にも積極的に取り組み、「森の京都DMO」文化観光サポーターとしても活動。地域の無形文化財継承サポートなど、文化と土地、人々をつなぐ役割を担っている。2025年亀山市文化会館所属プロシアターフレンズに登録される。鈴鹿市「すずか応援アンバサダー」、同市文化事業団評議員も務める。



トランペット 中村好江

鈴鹿市生まれ。
生活に寄り添うニューオリンズジャズの香りを纏ったサウンドを信条とする、希少なニューオリンズジャズスタイルの女性トランペッター。9歳より玉垣小学校金管バンドにてトランペットを始め、12歳でニューオリンズでトラディショナルジャズの虜に。以降、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、オーストラリア、ハワイ、ジャマイカ、タヒチ、キューバ、東ティモールなど、各地の文化と音楽を現地で体験。中学時代からデキシードバンドや女性ラテンビッグバンドのショーバンドで活動し、国内外で多忙な学生時代を送る。18歳で単身ニューヨーク・ハーレムへ渡り、トランペッターのLew Soloff、Jon Faddisに指導を仰ぐ。19歳、テナーサクソ奏者・松本英彦の薦めにより、銀座ヤマハホールにて雪村いづみ、前田憲男ら錚々たるメンバーのサポートを受けソロデビュー。以降ソロ活動を本格化し、新聞・テレビ・NHK特集番組への出演。地元・鈴鹿では教育委員会「未来応援人」として約20年ボランティア講師を務め、2009年より鈴鹿市シティセールス特命大使「鈴鹿大使」に就任。長年

ニューオリンズとの往来を続け、Preservation Hallをはじめとする老舗での演奏を重ね、Danny Barker Festival、French Quarter Festival等に継続して出演。その土地の空気に深く浸りながら、伝統のグルーブと精神性を体得してきた。東海地方では約20年にわたり「中村好江わくわくH074」を率い、Nagoya Trad Sessionなど文化継承を軸とした活動も展開。関東にて、Trad Jazz Duo、New Orleans 3、Swamp3+1、Pyonchantrainなどのリーダーバンドのほか、古川奈都子Soul Food Cafe、Careless Hornets等に参加。現在、鈴鹿を拠点に、東海・東京を中心に全国各地、ニューオリンズと往来しながら、音楽生活35年。持ち前の明るさと、今日という日を味わい深く照らす音色を胸に、紡ぎ続けている。



絵芝居師 小川よしのり

18才の時に医師から筋ジストロフィーと診断され、検査入院中に書いていた絵本のシナリオを紙芝居に編集し2022年に、「紙芝居ボキールの時計」として上演した所、反響を呼び、地のイベントや学校、保育所で上演のオファーを受け、オリジナル作品を作る中で紙芝居師として活動する事を決める。一人形まるのまるさんに弟子入りし、翌年2023年にプロになる。

2024年25年京都演劇フェスティバル出演
2024年イタリアアッシジ、フィレンツェにて紙芝居上演
2024年紙芝居文化推進協議会紙芝居コンテスト優秀賞
NHKおはよう日本、テレビ東京生きたるを伝える等出演
京都市とフィレンツェの姉妹都市60周年事業も手掛ける
2025年から、現代アート紙芝居の制作にも尽力している

響きあう 郷土民話 - 紙芝居と音楽 - 『三ツ子山のぬき丸』

脚本 小川よしのり 絵 いさやはるか 監修 亀山 隆
企画 和太鼓 凛 公益財団法人亀山市地域社会振興会

紙芝居『ぬき丸』は、平家に伝わる郷土の伝説をもとに、紙芝居ならではの演出で、こどもから大人まで楽しめる物語として描きました。懐かしくも新しい、亀山の物語をぜひお楽しみください。



亀山 遥香(いさやはるか)
京都芸術大学 美術工芸学科 アートプロデュースコース 2年



久保沙綾

Xrise 所属
洗足学園音楽大学ミュージカル科卒業 三重県津市出身。
2021 年〜しまじろうコンサート歌のお姉さんとして全国ツアーに出演中。舞台の他にもテレビ朝日「全力坂」「あざとく何が悪いの?」や、BMW WebCM、宇多田ヒカルMV、じゃらん旅百景春号、冬号モデル、電車内広告等幅広く活動。
2025 年10月12日「明日へ」リリース。



三重大学応援団

昭和60年設立。
創団当初から3つの目標「1. 三重大学の総合活性化 2. クラブ・サークルの応援、壮行 3. 地域社会の応援」を掲げ、活動して参りました。リーダー部・ブラスバンド部・チアリーダー部の三部から成り、リーダー部は力強い声と姿、ブラスバンド部は迫力の演奏、チアリーダー部は華やかなパフォーマンスが魅力です。
私たちの応援で皆様に笑顔と元氣をお届けすべく練習に励んで参ります。



三幸・スポーツマックス共同事業体
『スリーハピネス』

『スリーハピネス』は亀山市運動施設東野公園体育館で開催している自主事業教室に通っている4歳から小学6年生までの子どもたちです。教室では、チアダンス・ヒップホップダンス・新体操の3つのチームに分かれています。
今日は3チームがそれぞれ日頃の練習の成果を披露させていただきます。かわいい子どもたちの演技にご声援よろしくお願いします。